

やまびこだより

第69号
社会福祉法人杏和会
やまびこ学園
2021.11.15

日ごとに寒さが身にしみる頃となってまいりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。これから寒くなるにつれて、新型コロナウイルスだけでなくインフルエンザにも気を配らないといけない時期になってきました。やまびこ学園においても、これまで通り感染対策を講じております。その中で北九州空港へのバスドライブやハロウィンの活動を行いました。様子をご覧ください！



北九州空港へのバスドライブの写真です(10月14日・15日・19日・26日) 28名の方が参加し車窓から秋空の眺めを楽しまれています♪下段はハロウィンの制作物の前での記念撮影で皆さん笑顔がとっても素敵でした！



感謝状

先日11月6日に東谷地区自治会連合会より、感謝状をいただいております！東谷地域住民並びに関係者へのコロナワクチン職域接種に対するもので、917名の地域の方に接種させて頂きました。地域の感染対策を進め、安心していただくとともに「地域福祉の拠点」を理念として掲げている学園としても貢献出来ました。今後も地域と協力して、地域に必要とされる施設を目指していきます！

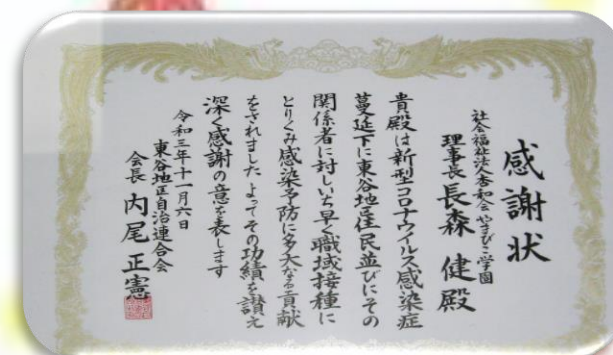


東谷まちづくりだより
(令和3年9月15日)

新型コロナウイルス感染症が広がるばかりで緊急事態宣言が何度も発出され、いろんな活動を取りやめざるを得ない状況です。楽しみにしていた東谷フェスティバルも役員会にて今年も開催しないことに決まりました。誠に残念です。各種行事は取り止めてはいます。

活動を紹介します。
一つは平尾台病院・やまびこ学園にての職域接種に協力して一人でも東谷から感染者を出さないようにと迅速に動き、6月30日1回目のワクチン接種に始まり8月22日2回目の接種を終えたことになりました。それにより917名の方が接種されました。町内会長をはじめお世話して下さいました皆様お疲れさまでした。

東谷地区まちづくり協議会 会長 内尾 正憲



秋の行事食



10月28日にカボチャのドリア、レモンハーブチキン、コンソメスープ、紫イモのプリン、コーヒー牛乳をハロウィンの行事食として提供しています♪よく使われるかぼちゃについてですが、ハロウィンはヨーロッパの民族ケルト人の収穫祭が起源とされています。当初は「かぶ」を使っていましたが、アメリカに伝わった際、かぶに馴染みがなく、珍しいものだったので、収穫祭の時期に多く収穫されていた「かぼちゃ」を使い代用したのが始まりだそうです。また栄養価も高く、ビタミンA・C・Eが多く含まれており、抵抗力を強める働きがあるので、利用者の方々にもしっかり摂ってもらって、寒い冬を乗り切ってもらえるようにしています！

